

国際交流サロン

9月の「世界の国技を見てみよう」は「大韓民国の国技・テコンドー」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国	大韓民国	国技	テコンドー
どんな競技か	<p>しょうとうかん 松涛館空手を起源とし、韓国^{韓国}の歴史にちなんだ「型」を持つ蹴り技に重点をおいた、礼儀をはじめ心身鍛錬を大事にした格闘技です。</p> <p>スポーツとしてのテコンドーは1950年から1960年の約10年の間に確立されました。防御、蹴り、突き、手刀の技を主として防具を着用して戦います。同時に相手を押し倒したり、足払いをしたり、投げたり、関節技をかけるといった多彩な技術を必要とします。</p> <p>2000年からはオリンピック競技種目になり、現在世界200か国に競技人口が8,000万人いるといわれています。</p>		
同じ国技の他国	朝鮮民主主義人民共和国		



都内の大学生のホームステイ

10月の国際交流情報

外国人子ども向け日本語指導法講座

日時：10月17日(金)、24日(金)、31日(金)
午前10時～午後2時30分
会場：アルテリオ 2階 会議室
(筑西市^{筑西市}内372)
対象：外国人に日本語指導の経験があり、外国人児童へ日本語支援できる方
主催：茨城県国際課

☆10月の日本語教室の開講日

10月4日(土)・11日(土)・18日(土)
(友部公民館 午前10時～)

外国人子ども向け日本語指導法講座参加者募集

異なる言葉や文化で育ったため、日本の学校生活で日本語が全くわからない子や、簡単な日本語はわかっても授業についていけない子どもたちを支援するための「日本語指導法講座」を茨城県が開催します。参加費は無料です。すべての日程に参加でき、受講後、笠間市および県内で外国人児童の日本語支援ができる方を募集しています。先着20名ですので、お早めに笠間市国際交流協会までお申し込みください。
申込期限：9月20日(土)

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)

市長コラム

ある職員への願い

去る7月、笠間市職員が30代という若さで短い人生の幕を閉じました。

市役所に入庁し、わずか6年目でありました。有能な職員を失ったことは、痛恨の極みであり、残念でなりません。

3年前から病との闘いの毎日であり、治療を継続しながら仕事をしていた気丈な彼の姿が忘れられません。

今年の4月に、彼と二人で話をする機会がありました。体調

や病氣治療等の様子を聞く中で、彼が話の最後に私に言ったのは、「若い人が僕のように病氣にならないように、健診や予防に市としてしっかりと取り組んでほしい」との言葉でした。彼の様子から、自分の状態を知った上での覚悟を感じました。

今となつては、それが彼との最後の会話であり、遺言となつてしまいました。

葬儀のあとに、部長・支所長会議を開き、その時の彼の言葉を伝えました。彼の言葉を忘れることなく、職員や市民の健康を守るための政策に取り組んでいくことが最大の供養になると思つていきます。
どうか安らかにお休みください。

笠間市長

山口伸樹

